



じょうたいけい
V: 常体形

基 本

例 文

- ① これはあしたの授業で使う本です。
じゅぎょう つか ほん
- ② A: 田中さんはどの人ですか。
た なか ひと
 B: 田中さんはあそこに座っている女の人です。
た なか すわ おんな ひと
- ③ あれはわたしが通った高校です。
かよ こうこう
- ④ これはわたしがかいた絵です。
え
- ⑤ A: この作文を書いた人はだれですか。名前がありません。
さくぶん か ひと な まえ
 B: すみません、わたしです。
- ⑥ 母が作る料理はとてもおいしいです。
はは つく りょうり
- ⑦ きのうち見たドラマはおもしろかったです。
み
- ⑧ きのうち図書館で借りた本は、とてもおもしろいです。
としょかん か ほん
- ⑨ A: 田中さんが住んでいる町はどんな町ですか。
た なか す まち まち
 B: にぎやかな町です。
まち
- ⑩ A: ○×△美術館へ行ったことがない人は、手を上げてください。
びじゅつかん い ひと て あ
 B: (手を上げて) はい。
て あ
- ⑪ わたしは、ビートルズが作った曲がすきです。
つく きょく
- ⑫ A: すみませんが、そこにある本を取ってください。
ほん と
 B: はい、どうぞ。
- ⑬ 答えを書いた紙を出してください。
こた か かみ だ
- ⑭ 先週海へ行った日は暑かったです。
せんしゅうみ い ひ あつ
- ⑮ 先月卒業パーティーをしたレストランは、ここです。
せんげつそつぎょう

- A. 「N1がV」は、N2を修飾する。(例文①～⑮)
 B. N1は、「が」をとる。(例文③④⑥⑨⑪)
 C. 「V + N」は、名詞として文の構成要素になる。(例文①～⑮)

これは、あしたの授業で使う本です。

この作文を書いた人は、田中さんです。

そこにある本を取ってください。

きのう行ったレストランで山本さんに会いました。

先生へ

- ◆ 「N1がV」は、連体修飾節。
 ◆ N1は、「が」の代わりに「の」をとることがある。ただし、理解があいまいになるような場合には、「の」を使わない。

例1 きのをわたしが行った店

きののをわたしの行った店

2 お父さんが病院に勤めている山本さん (病院に勤めているのはお父さん)

お父さんの病院に勤めている山本さん (病院に勤めているのは山本さん)

- ◆ 連体修飾節では、対比の「は」は使うことができる。

例 コーヒーは飲んで、紅茶は飲まない人

- ◆ 連体修飾節のVは、文全体の時制に影響を受けない。

- ◆ 連体修飾節では、結果の継続の「Vている」と完了の「Vた」は、置き換えることができる。

例 赤いセーターを着ている先生

赤いセーターを着た先生

【関連項目】

- 活-05 常体形
 助-05 の
 文-07 Aい／ANなN
 文-28 NがA／AN＋N

【「れんしゅう編」の練習】

- ★ 11-2 何ですか
 ★ 11-3 インタビュー